

第Ⅱ章

今後の観光産業振興の考え方

- 1 基本方針等 ————— 14
- 2 政策目標 ————— 17

1 基本方針等

基本方針

観光需要がようやく復活し、2025年に世界陸上やデフリンピックという国際的なイベントが開催される局面を捉え、**観光客を世界中から積極的に呼び込み、観光消費を拡大**することは、活力あふれる東京へと発展していく上で重要である。

一方、観光を**将来にわたり持続可能**なものとするためには経済の活性化や自然環境・文化の保全、住民と旅行者の良好な関係作りなど様々な面で**バランスの取れた観光振興**が重要であり、観光における**持続可能性**の確保に向けて**多面的**に取り組んでいくことが必要である。

また、言うまでもなく観光は、多くの民間事業者によって支えられている。宿泊業における**人材不足をはじめとした観光産業の課題への対策**を講じ、観光産業の一層の成長に向けた道筋を確固たるものとしなければならない。

以上の認識を踏まえ、次の3つを基本的な方針として観光施策を展開することにより、**東京の観光都市としての国際競争力を強化し「PRIME観光都市・東京」を実現**していく。

- ❑ 復活した観光需要の積極的な取り込み
- ❑ 観光における持続可能性の確保
- ❑ 観光産業の基盤の強靱化

取組推進の視点

基本方針を踏まえて取組を推進する際、実効性を高めるために以下の視点が重要

東京ならではの質の高い観光体験の提供と発信

- 東京の特色を活かし、消費額の拡大にもつなげるため、**食、文化、ナイトタイム観光**を**重点的に強化**
- **個人**の志向・関心等により**旅行のテーマや目的が多様化**していることを意識し、様々な**データの集約・分析**を通じて、より**効果的なプロモーション**を実現

観光客へのサポート機能の向上

- 魅力の磨き上げや発信のみならず、**様々なコンテンツ**を快適に**楽しめる環境整備**が重要
- 東京の観光公式サイトを通じた**エンターテインメント等のチケット購入**の円滑化や、**障害のある方がより快適に観光を楽しめる**ようにするための**サポートの充実**などを推進

日本各地との連携の促進

- 日本の**ゲートウェイ（玄関口）**として、**東京と日本各地の魅力の相乗効果**を発揮できる誘客の取組を推進
- **万博開催**に向けて**関西自治体と連携した相互送客プロモーション**を実施するとともに、**東京に滞在しながら都外の観光地を訪問**する旅行の促進などを通じて、**各地への送客と観光需要の地域的な分散**に貢献

サステナブル・ツーリズムの一層の推進

- **観光における持続可能性の確保**に向けて、**混雑緩和等**に関する**地域の取組への支援**や**観光客のマナー啓発**、また、観光による**環境負荷の低減**や、都民の**観光客受入気運の醸成**など様々な取組を推進
- 高水準のサステナビリティの確保に係る**国際的な認証の取得**について地域や宿泊事業者等への**支援**を実施

観光関連事業者の経営力強化への支援

- 観光関連事業者における**人材確保**や**DXの推進**について、事業者の課題を踏まえて**支援策を充実**
- 宿泊事業者が経営力向上のために行う**設備投資等**を支援することを通じて**収益力の向上**や労働環境の改善に繋げ、産業の活性化を後押し

(取組の全体像)

基本方針

復活した観光需要の
積極的な取り込み

観光における
持続可能性の確保

観光産業の
基盤の強靱化

取組推進の視点

- 東京ならではの質の高い観光体験の提供と発信
- 観光客へのサポート機能の向上
- 日本各地との連携の促進
- サステナブル・ツーリズムの一層の推進
- 観光関連事業者の経営力強化への支援

主な施策展開

戦略1 東京の特色を活かす観光振興

- (1) 「食」の魅力の強化
- (2) 文化資源の活用促進
- (3) ナイトタイム観光の促進
- (4) 多摩・島しょ地域の観光振興
- (5) より快適な観光を実現するための環境整備
- (6) 新たな観光テーマの開拓

戦略2 プロモーションの新たな展開

- (1) 戦略的な海外プロモーションの推進
- (2) デジタルマーケティングの強化
- (3) 日本各地との連携の促進
- (4) ビジネス交流の拡大

戦略3 持続可能な観光地域経営の推進

- (1) 観光関連事業者の経営力強化
- (2) 地域における観光まちづくりの推進
- (3) サステナブル・ツーリズムの推進

2 政策目標

都の基本計画である「『未来の東京』戦略」も踏まえ、2030年を見据えて設定された目標の達成に向けて、施策を展開していく。

	2030年 目標	2026年 目標	直近の実績	(参考) 2019年実績
1 国内旅行者に対する 都民の受入意向	50%以上	—	49.8% (2023年4～6月)	—
2 外国人旅行者に対する 都民の受入意向	50%以上	—	42.6% (2023年4～6月)	—
3 訪都国内旅行者数	6億人	—	5億4,267万人 (2022年)	5億4,316万人
4 訪都外国人旅行者数	3,000万人超	2,000万人	331万人 (2022年)	1,518万人
5 訪都国内旅行者消費額	6兆円	5兆3,000億円	4兆6,235億円 (2022年)	4兆7,756億円
6 訪都外国人旅行者消費額	2兆7,000億円超	1兆8,000億円	4,092億円 (2022年)	1兆2,645億円
7 国際会議開催件数の順位 (都市別)	世界3位以内	5位以内	41位 (2022年)	10位
8 東京の文化的環境を 楽しんでいる人の割合	70%	60%	49.8% (2022年)	—
9 都内温室効果ガス排出量 (2000年比)	50%削減	—	2.3%削減 (2021年 速報値)	0.4%削減

※ 1・2：都民の意識調査アンケート（東京都） 3～6：東京都観光客数等実態調査（東京都） 7：ICCA（国際会議協会）の発表による順位
8：都民生活に関する世論調査（東京都） 9：東京都における最終エネルギー消費及び温室効果ガス排出量総合調査（東京都）